

一般社団法人 日本看護学教育学会 第 25 回学術集会

メインテーマ：看護の本質と時代を見
すえた看護学教育

学術集会長：雄西智恵美(徳島大学
大学院)

日時：2015 年 8 月 18(火)・19 日(水)

会場：アスティとくしま(徳島市)

TEL. 088-624-5111

交通：JR 徳島駅より徳島市営バス
で約 15 分、タクシーで約 10 分

プログラム：

【第 1 日目 8 月 18 日(火)】

会長講演：「看護の本質と実践力の
統合・深化を支える臨地教育力」雄
西智恵美(徳島大学大学院)／**特別講
演：**「ケアの相互性——学ぶ、教え
る、実践する」木下康仁(立教大学
社会学部)／**教育講演 I：**「時代を超
えた看護の原理を伝えつづける看護
学教育」秋元典子(岡山大学大学院
保健学研究科)／**シンポジウム I：**
「臨地教育の充実をめざした臨地と
教育の連携体制の構築」

座長：細田泰子(大阪府立大学)／庄
野泰乃(徳島赤十字病院)

シンポジスト：石原逸子(神戸市看
護大学)／松谷美和子(聖路加国際大
学)／高開登志子(徳島大学病院看護
部)／吉良淳子(茨城県立医療大学)

お接待セミナー：「お接待のこころ
と看護」真鍋俊照(第 4 番札所黒巖山
遍照院大日寺・四国大学)／高橋知
子(日和佐うみがめお接待の会)高橋
順子(四国大学)

ワークショップ：「シミュレーシ
ョン授業参観」阿部幸恵(東京医科大学
病院 シミュレーションセンター)

理事会企画：「看護ハナマル先生公
開授業」(教育活動委員会)／「研究計
画をブラッシュアップしようパート
Ⅲ」(研究推進・助成委員会)

【第 2 日目 8 月 19 日(水)】

教育講演 II：「時代を見すえた看護
の拡張と看護学教育」井上智子(東京
医科歯科大学大学院保健衛生学研究
科)／**教育講演 III：**「医療教育の充実
と看護学教育への期待」赤池雅史(徳
島大学大学院ヘルスバイオサイエ
ンス研究部)／**シンポジウム II**「看護学
教育の将来を託す人材の育成」

座長：高橋照子(徳島文理大学大学
院)／グレッグ美鈴(神戸市看護大
学)

シンポジスト：平木民子(香川県立
保健医療大学)／西村ユミ(首都大学
東京)／内田陽子(群馬大学大学院)
／樋口まち子(国立看護大学校)

市民公開講座：「こころの音が言葉
になるとき～院内学級の子どもたち
が教えてくれた大切なこと」副島賢和
(昭和大学大学院 保健医療学研究科)

／**スイーツセミナー：**「希少糖と健
康」(仮)徳田雅明(香川大学 医学部)
／**厚生労働省看護課企画：**「厚生労
働省における看護行政の動向」習田
由美子(厚生労働省医政局看護課)／
理事会企画：「研究助成金による研
究の発表」(研究推進・助成委員会)
「採択される論文を書くために～不
採択理由の分析と看護学教育研究に
おける論旨の一貫性」(編集委員会)

参加申し込み：第 25 回学術集会
HP(<http://jane25.umin.jp>)からお申
し込み下さい。

参加費：事前登録：会員 1 万円、非
会員 1 万 1000 円

登録期間は 4 月 15 日(水)～7 月 10
日(金)当日参加：会員 1 万 1000 円、
非会員 1 万 2000 円、学生(院生除く)
3000 円(講演集代別)／懇親会参加
費：会員・非会員ともに 6000 円
懇親会は 8 月 18 日(火)一日目の夕
方、近隣のホテルで開催予定。

第 25 回学術集会運営事務局
トップツアー株式会社 徳島支店
〒770-0831 徳島市寺島本町西 1-57

駅前商店街ビル 6 階

E-mail: jane25-info@toptour.co.jp

TEL. 088-622-8914

FAX. 088-622-9703

第 25 回学術集会事務局

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエ
ンス研究部保健科学部門看護学講座
内

〒770-8509 徳島市蔵本町 3 丁目
18-15

E-mail: [imai@medsci.tokushima-u.
ac.jp](mailto:imai@medsci.tokushima-u.ac.jp)

TEL&FAX. 088-633-9046

(雄西学術集会長より)

近年の加速化する少子高齢化社会や
医療の高度発展に伴い看護基礎教育
で扱う内容も変化しています。しか
し、医療技術がどれだけ進歩しても
変わることはない“人の命を護り生
活を支える”という看護の本質的な
役割は看護職としてのアイデンティ
ティにもつながる重要な要素であ
り、看護学教育の根幹となるもので
す。生活感覚が変化しているといわ
れる今日の学生に、この「看護の本
質」をどう教育するのか、今あらた
めて問い直す必要があると思いま
す。

同時に、学際的な医療チームの一員
として看護が自律した専門職として
役割を担っていくためには、時代を
見すえた人材育成が不可欠です。こ
のような思いから、今回のメイン
テーマを、「看護の本質と時代を見
すえた看護学教育」とし、今求めら
れる看護学教育について、参加者の
皆様とともに考える機会にしたいと
思います。また、徳島の文化に触れ
ていただくために「お接待セミナー」
を企画しています。暑い徳島ではあ
りますが、看護学教育や看護職の人
材育成にかかわる皆様のご参加を心
よりお待ちしております。